

Regional Economics and Policy Studies Advanced Seminar I

Research Subjects
Requisites 2 credit

Each Staff

No localized syllabus found / Showing original

1. Course Description

地域経済政策学の理論・知識・手法の修得を目指すために、指導教員の指導を踏まえて、研究したいテーマに関わる文献の収集方法と読解方法、フィールド研究のための準備方法などを演習形式で学びます。これによって研究計画書を作成します。7月の第1回中間報告会では、この研究計画書に基づく報告を行なうことになります。なお、研究倫理についても学びます。この授業は経済学研究科のディプロマポリシーのうちDP1、DP2、及び地域経済政策学専攻のすべてのディプロマポリシー即ちDP1、DP2、DP3に関係します。

2. Course Objectives

この授業の到達目標は、第1に地域経済政策学専攻修士論文執筆の前段階となる研究計画を自身の力でたてる能力を身につけることです。第2に研究計画をパワーポイントを用いてプレゼンテーションする力を身につけます。

3. Grading Policy

レジュメ(50%)、中間報告会での報告要旨(20%)、プレゼンテーション(10%)とディスカッション(20%)によって評価します。

この授業ではディスカッションに教員も参加するので、ディスカッションが学生へのフィードバックとなります。

4. Textbook and Reference

Textbook

日本学術会議 『声明 科学者の行動規範—改訂版—』2013年1月25日

日本学術会議

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-22-s168-1.pdf>

Reference

授業開講時に指示します。

5. Requirements(Assignments)

無遅刻、無欠席、無早退が当然のマナーです。自身が研究したいテーマに関する文献リストを事前に作成し、開講時に提出し、何故それを選ぶのか、その意図を指導教員に対して説明すること。また、毎回の授業で用いる文献を読むだけでなく、問題点を明確にし、自分なりの考え方を提示できるように準備してください。

6. Note

研究倫理については、上記の教科書の項目に書いたテキストを用いますが、これはインターネットによって容易に取得できます。

研究したいテーマに関わる文献の収集方法と読解方法、フィールド研究のための準備方法などに関するテキストについては、第1回目の授業で担当教員から指示されますが、自身の力で読むべきテキストを取得することも求められます。

COVID-19の感染状況次第では、教室での対面授業ができなくなる可能性があります。その場合には、オンラインでの授業形態を考えます。しかしオンデマンドでの授業となるか、それとも同期双方向通信での授業展開となるかは、この授業を担当する教員によって決定されるので、第1回授業ないしその前に、担当教員と意思疎通を図って下さい。

7. Schedule

- [1] 自身が研究したいテーマに関する報告とディスカッション
- [2] 読むべき文献のリストアップと、実際に読むべき文献の選定
- [3] 研究倫理について
- [4] 文献1の講読
- [5] 文献1で採用されている研究方法に関するディスカッション
- [6] 文献2の講読
- [7] 文献2で採用されている研究方法に関するディスカッション
- [8] 研究計画の立て方
- [9] 文献3の講読
- [10] 文献3で採用されている研究方法に関するディスカッション
- [11] 中間報告会用PTTの検討
- [12] 第1回中間報告会での研究計画案プレゼンテーション
- [13] 中間報告会でのコメントを受けて後期までの研究計画修正
- [14] 文献4の検討
- [15] 夏季休暇中課題の検討